



のごみっこ

鹿島市立能古見小学校
学校だより 文責 中原奈美
令和8年7月7日（第7号）



【学校教育目標】

「かしこく・正しく・たくましく 共に伸びゆく能古見っ子」

平和へのねがい～戦争について知り、平和について考えよう～（平和集会）

今年は、戦後81年目の年です。6月23日は沖縄慰霊の日、8月6日は広島原爆の日、8月9日は長崎原爆の日、8月15日は終戦の日です。学校では、毎年、命の大切さや平和について考える平和集会を行っています。

今年度は、運営・集会委員会の司会・進行で、7月2日に実施しました。PTAふれあい部の方による絵本「へいわってどんなこと？」の読み聞かせ、人権・同和教育担当者による戦争の頃の生活の様子や能古見地区にある忠魂碑の話、6年生による長崎での平和学習の発表などを行いました。6年生は、自分で見て聞いて、体験したことを、下級生にしっかりと伝えてくれました。「みんなを思いやり優しくすること、助け合って協力すること、下級生の手本となる正しい行動をすること」を誓ってくれました。食べる、眠る、遊ぶ、学ぶことができるのは、平和であるから。かけがえのない命を大切に生きること、「へいわってどんなこと」かを、一人一人が考える時間になりました。

戦後81年となり、当時のことを知る人が少なくなってきました。今を生きる私たちにできることは「知ること」「考えること」「行動する（伝える）こと」だと思います。ご家庭でも、「へいわってどんなこと」かお子さんと一緒に考えてみてはいかがでしょうか。

あいさつ上手な能古見っ子になろう ～運営委員会の立案による取り組み～

6月の代表委員会で、学級の代表、各児童委員会の委員長が出席し、「あいさつ上手な能古見っ子になるにはどうしたらいいか」という議題で話し合いが行われました。

各学級の代表者が意見を述べ、取り組み内容と役割分担を決めました。昼の放送では、運営委員会が「先生方が見つけたあいさつ上手な〇〇さん」を紹介するなど、全校で「あいさつ上手な能古見っ子プロジェクト」に取り組んだことで、元気に笑顔であいさつする能古見っ子が増えました。

運営委員会の立案で議題を決め、みんなで話し合っただけで決めたことに取り組んだことが、「自分で自分のことを決められる子ども」への一歩につながると思いました。家庭や地域でも、あいさつの輪が広がることを期待しています。

あいさつポスターを作る	1年 2年 6年
あいさつ缶バッジを作る	3年 4年
あいさつビンゴカードを作る	5年
あいさつ上手な人を紹介する	運営委員会

